

炭 竈 ふく代 議員



## 子育て3法の具体化に伴う 認定こども園の市の考え方は

問

子ども・子育て関連3法【指】の具体化について聞く。

- 保育所と幼稚園の機能を併せ持つ「幼保連携型認定こども園」の創設や、民間企業参入による保育所待機児童の解消などを目的とした法律。27年度施行予定。
- (1) 子ども・子育て支援事業計画作成について、どう考えているか。
- (2) 地方版子ども・子育て会議の設置が努力義務として定められている。市も、設置する必要があると考えるが、どうか。
- (3) 保育所の待機児童の実態は。
- (4) 認定こども園の考え方の地域型保育給付【指】への今後の取り組み
- 待機児童対策として、小規模な保育施設等に対し、財政支援を行う制度。配置基準等は、市が条例で定める。
- (6) 乳児家庭を訪問する、

こんにちは赤ちゃん事業の23年度の実績は。

## 十分検討し今後方針を決めたい

答 児童課長

(1) 計画策定に当たり、25年度ニーズ調査を実施し、

### 子宮頸がん予防ワクチン・Hibワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン 予防接種費用助成

子宮頸がん予防ワクチン・Hibワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンは保護者の希望により行う任意接種です。市では国のワクチン接種緊急促進事業により、接種費用の一部を助成しています。この事業は平成24年度末までを期限としているため、現時点で費用助成は平成25年3月31日接種分までを対象としています。(平成24年3月時点)

#### 費用助成の対象者・助成金額

ワクチンの種類	費用助成の対象者	1回接種ごとの助成金額
子宮頸がん	中学1年生(13歳となる日の属する年度の初日)～高校1年生(16歳となる日の属する年度の末日)の女性 ※ただし高校2年生相当の女性のうち、平成24年3月31日までに本事業に基づいて1回目または2回目の接種を行った方は、それ以降の接種についても助成対象となります。	5,000円
Hib	生後2か月から5歳の誕生日の前々日までのお子さん	2,500円
小児用肺炎球菌	生後2か月から5歳の誕生日の前々日までのお子さん	3,000円

新制度給付や事業需要見込み量を把握していきたい。

(2) 市も会議を設置し、計画を策定していきたい。

(3) 現在、待機児童はないが、24年度は乳児の入所希望が非常に多く、希望の保育所定員に余裕がない場合は、一時的に待たせてもらうことがあった。

(4) 移行の必要性を十分検討し、今後策定する計画の中で方針を定めていきたい。

(5) 従来の保育所による対応を基本に、ニーズ調査で需要見込み量を把握し、方針を定めていきたい。

答 健康推進課長

(6) 対象家庭数457件に対し、訪問数416件91%だった。

## 子宮頸がん予防接種PRを

問

子宮頸がんの予防対策について聞く。

(1) 23年度学年別接種率

(2) 学校教育等で受診率向

上を目指す必要があると思うが、今後、市として、どう考えているか。

(3) 25年度以降、定期接種になった場合、市としてどう考えているか。

## 各中学校へPRしていく

答 健康推進課長

(1) 対象者1千84人に対し、接種者437人、接種率40.3%で、学年別は(対象者、延べ接種者、接種率の順に)中学1年生241人中25人10.4%、中学2年生205人中46人22.4%、中学3年生235人中74人31.5%、高校1年生202人中171人84.7%、高校2年生201人中121人60.2%である。

(2) 広報、母子保健予防接種事業の案内、ホームページ等で周知しており、教育委員会からも各中学校へPRしていく。

(3) 国の動向を注視しながら検討していきたい。